

# 自然療法

大谷中学校 14歳の挑戦

大谷中学校の生徒たちが取材をして記事を書きました。



十四歳の挑戦三日目。  
僕たち私たちは、自然の物  
を使った医療のお話を伺いに、  
藤田健太郎さんに取材にいき  
ました。

まず初めに、身体のことについて教えていただきました。「血管を拡大してみるとアマゾン川にそっくり」「人間の骨を拡大したら岩にそっくり」「人間の血管が地球の二周半ある」など、人間の身体と自然が意外にもとても近いものだということを教わりました。



豆腐湿布は、熱を冷ます働きがあるそうで実際に使用してみるととても冷たくて気持ちよかったです。コンニャク湿布は疲れや冷えに効果があり身体の中から温まってきて気持ちよかったです。

また、今度道に落ちてたり  
したらみんなに教えてあげて  
いなと思いました。例えばドク  
ダミにはニキビやうみに効果  
が有りヨモギはむしばにこう  
かがあるそうです。

その、摘んだ薬草で足湯に入つたり、玄米を試食させていただけました。足湯は、生姜や薬草などが入つっていました。とても温かくて気持ちよかったです。玄米は白米にはない栄養がたくさん含まれているのですごいと思いました。

そんな、いろいろ教えて下さった方に、「あ、うらやましい」と思いました。

「働く」というのは人の為に尽くすということです。仕事は生きがいです。」

現在では機械を使った医療が普通だけど自然のものを使った医療の話を聞いてあまりたよりすぎてはいけないと思いました。

■藤田健太郎  
1978年4月6日生。

次に、薬草になる雑草の話を聞いていただきました。実際に家の庭にあるそudsでみんなで摘みにいきました。スギナやドクダミやヨモギなどがありました。においてどのように効果的かなど詳しく教えていただきました。いろいろな薬草の話が聞けてよかったです。

次に、豆腐を使つた豆腐湿布やコノニーやクを使った「ノン」ニヤク湿布などを作つて実際に体験してきました。



次に、薬草になる雑草の話を聞いていただきました。実際に家の庭にあるそつでみんなで摘みにいきました。スギナやドクダミやヨモギなどがありました。においてどのように効果的ななど詳しく教えていただきました。いろいろな薬草の話が聞けてよかったです。

治療の分野で多くの人に頼る事なく、自分で自立・循環していける世の中を作つていただきたい。だいたい行動しながら、やり方を摸索中。治療と食糧、エネルギー、住居、衣類などの自立・循環とは密接に関わると考え、他の分野とも交わる事で大きく進めそうです。同じような事を考えて、すでに行動している仲間に出会えたら嬉しいです。

